

令和7年度北海道自給飼料生産優良事例・研究成果発表会開催要領

1. 趣 旨
北海道の酪農・畜産は、広大な自給飼料基盤を背景に発展してきましたが、草地更新の遅れや雑草の侵入による牧草収穫量の減少などの課題が顕在化しています。また、円安等による配合飼料価格の高止まりなどが、酪農・畜産経営を大きく圧迫しているところです。
こうした中、安定した農業経営を確立するためには、これまで以上に自給飼料基盤に立脚した経営を推進することが重要なことから、令和7年度北海道自給飼料生産優良事例・研究成果発表会を次のとおり開催します。
2. 主 催
北海道自給飼料改善協議会
(構成団体)
北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部、
北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、公益財団法人北海道農業公社、
雪印種苗株式会社、一般社団法人北海道酪農畜産協会（事務局）
3. 開催日時
令和8年2月16日（月）13：00～17：30
4. 開催場所
ANAクラウンプラザホテル札幌 3階「鳳」
札幌市中央区北3条西1丁目 TEL 011-221-4411
5. スケジュール
13:00 開 会
13:10～13:50 話題提供
「国産飼料を取り巻く情勢と予算の概要」
農林水産省 畜産局飼料課飼料生産計画班 課長補佐 植木 智也 氏
13:50～14:50 優良事例発表
「地域の酪農家全員が結束～できることは徹底して確実に！地域の特徴を生かして～」
農事組合法人 瑞穂（北見市留辺蘂町） 代表理事副組合長 井上 光夫 氏
〈要旨〉「牛が喰う自給飼料づくり」と「牛が良く喰うために」を皆の合言葉として労力を惜しまず確実に作業し、畑作物、飼料用トウモロコシ、牧草で輪作を組みつつ、営農管理システムデータを活用した効率的な生産を行っている事例を紹介します。
15:00～15:40 話題提供
「自給飼料生産技術の改善～重点地区における5年間の取組～」
北海道釧路総合振興局 釧路農業改良普及センター釧路東部支所 普及指導員 芦澤 弘基 氏
〈要旨〉重点活動地域（厚岸町若松・糸魚沢地区）にて、全ほ場の植生状況を調査し、除草剤の有効活用による粗飼料改善支援を行った。更に、飼料設計による飼養管理改善支援を実践したところ、相乗効果により生乳生産性が向上した事例を紹介します。
15:40～16:20 研究成果発表
「オーチャードグラス及びフェストロリウム新品種の特性と利用方法」
(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター寒地酪農研究領域 主任研究員 眞田 康治 氏
〈要旨〉北海道農業研究センターが中心となって育成したWSC（可溶性炭水化物）含量の高いオーチャードグラス品種のラインナップおよび追播特性に優れるフェストロリウム新品種について、それぞれの特性を生かした利用方法を提案します。
16:30～17:30 全体討議「気候・労働力の変化に伴う自給飼料生産の在り方」
座 長：雪印種苗株式会社 事業本部 トータルサポート室担当部長 佐藤 尚親 氏
パネラー：農林水産省 畜産局飼料課飼料生産計画班 課長補佐 植木 智也 氏
農事組合法人 瑞穂 代表理事副組合長 井上 光夫 氏
北海道釧路総合振興局 釧路農業改良普及センター釧路東部支所 普及指導員 芦澤 弘基 氏
(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 寒地酪農研究領域 主任研究員 眞田 康治 氏
17:30 閉 会
6. 参集範囲
酪農・畜産生産者、農業支援団体等、市町村、JA、北海道、関係機関・団体等